



元通信兵が語り継ぐ 空母信濃の悲劇

木村昇吉 さん -上原町-



海兵服姿の木村さん(本人提供)

ー 通信兵として乗船 ー

「魚雷の1つや2つで沈んだりしないよ」。

昭和19年11月28日午後1時32分、3隻に護衛されながら、約2,500人が乗船した信濃は横須賀を離れました。午後7時頃、太平洋を南下。通信兵で17歳の木村さんは、2時間当直、4時間の休憩を繰り返し、2度目の当直のとき、米潜水艦レーダーが信濃に反応しましたが、米は追い付けずに諦めた様子でした。

ー 魚雷命中 あっという間の沈没 ー

29日午前3時過ぎ、信濃は米潜水艦らしき影を発見。しばらくして「ズドン」という衝撃を受け、魚雷6発のうち4発が信濃に命中しました。暗くて飛行機が飛ばせないため、乗組員は傾く信濃にしがみつくとしかできませんでした。

波のうねりで、2,000人余りが一気に海へ放り出されました。木村さんは立ち泳ぎをしながら、流れてくるスノコにやっとつかまり、3隻の護衛船に流れ着くとロープを投げられ引き上げられました。「助けられない人の叫び声を今でも覚えている」と振り返ります。総員退去命令から約30分。信



おもしろ上原塾での講演。信濃の模型などを使って当時の様子を説明する(5/16上原町区民館)

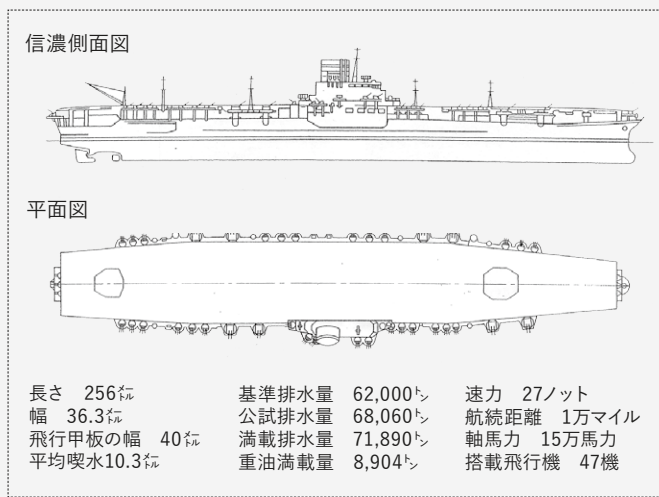
戦況厳しい昭和19年11月19日、旧海軍が全ての資材を投入した空母「信濃」が竣工。当時世界最大の規模を誇り、戦局挽回の願いが託されましたが、広島呉の海軍工廠への回航途中、米潜水艦の魚雷に沈められました。戦後78年の時を超えた今、通信兵として乗船していた木村昇吉さん(95)が、上原町有志が主催するおもしろ上原塾で講演しました。

濃は同日午前10時57分、紀伊半島潮岬沖合にゆっくりと沈みました。竣工から沈没まで艦命わずか10日間でした。

ー 地域に残す 戦争の記憶 ー

木村さんは生存者約1,000人と小さな島にたどり着きました。昭和20年4月1日、横須賀に召集がかかり木村さんは通信隊の送信課勤務に。終戦を迎え、9月1日に故郷へ帰りました。

講演では、信濃の模型や航海の経路が描かれた模造紙などを使って説明。木村さんは「生き残った人たちはほぼ亡くなり、信濃組員で組織する信濃会は数年前に解散した」と話します。参加者は情景を想像しながら、熱心に聞き入りました。



(上) 旧41部隊の兵舎を使った沼田東小学校と沼田中学校(下) 東部第41部隊の創立記念式典の行事(原爆・戦争遺跡パネル展)

「私の八月十五日」 「原爆・戦争遺跡」パネル展

とき 8月8日(火)～24日(木) 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)
ところ テラス沼田4階インナーテラスおよび市民ロビー
観覧料 無料

被爆体験伝承講話

広島市が養成した伝承者が、被爆者から直接受け継いだ被爆体験や平和への思いをお話します。
とき 8月15日(火) 午前10時30分～正午
ところ テラス沼田5階議場(Waltzホール)
定員 100人(先着順)

昨年の「私の八月十五日」パネル展。感情が込められた朗読を聴きながら、当時の様子を思い描く



特集1 貴重な証言

戦争の記憶つなぐ

第二次世界大戦の終結から78年が経過しようとする中で、体験者のいない時代が刻一刻と近づき、同時に被爆や戦争の記憶も失われつつあります。被爆の実相や戦時下の暮らしを学べるパネル展や講話などを通じ、平和について考えてみませんか。

戦争の愚かさや平和の尊さを長く語り継ぐため、終戦の日の思い出をつづった文章や絵画を紹介する「私の八月十五日」パネル展が、8月8日(火)から開かれます。

作家や漫画家など30人のパネルを展示。疎開先での暮らしや防空壕に駆け込んだ記憶など、それぞれの戦争の経験을伝えていきます。音声再生機器「音筆」により、寄稿者の肉声も聞くことができます。

「8・15朗読・収録プロジェクト」実行委員会の協力で今年で4回

目。参加者からは「展示を通して、戦争の悲惨さを少しでも次の世代に伝えていければ」といった感想を受けています。

原爆で破壊された広島・長崎のまちの様子や被害の惨状、市に残る戦争遺跡などを展示した「原爆・戦争遺跡パネル展」も同時開催。8月15日(火)には、被爆体験伝承者が被爆者の体験や思いなどを語る被爆体験伝承講話も予定されています。

問合せ 総務課行政係 ☎内線4014



2019年に市役所で行われた被爆体験記朗読ボランティアによる朗読会の様子

核兵器廃絶平和都市宣言 昭和61年3月20日制定

私たち沼田市民は、何よりも大切な平和を守り、人間性豊かなまちづくりを目指しています。しかし、今もなお核兵器は、私たちにとって深刻な脅威となっています。私たちは、すべての核兵器の速やかな廃絶を求め、真の永久平和が実現することを願い、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

沼田市民憲章 昭和58年9月10日/告示第35号

わたくしち沼田市民は、なによりも大切な平和を守り、人間性ゆたかなまちづくりをめざして、ここに憲章を定めます。

- 1 みどりを育て、美しいまちをつくります。
- 1 産業をおこし、活力あるまちをつくります。
- 1 ふれあいを大切にし、あたたかいまちをつくります。
- 1 郷土を愛し、文化のかおり高いまちをつくります。
- 1 きまりを守り、住みよいまちをつくります。

1分間の黙祷を捧げましょう



広島原爆投下 8月6日(日) 午前8時15分
長崎原爆投下 8月9日(水) 午前11時2分
戦没者追悼 8月15日(火) 正午

平和を願い被爆樹木を植樹



濃いピンク色で一重咲きが特徴の陽光桜(左)／葉が多く付き成長するアオギリ(中央)とクスノキ(右・現在養生中)